

# 広島版「学びの変革」アクション・プラン

- コンピテンシーの育成を目指した主体的な学びの充実 -

## <背景>

- グローバル化の進展などにより、あらゆる資源が国境を越えて行き交い、社会経済システムから一人一人の日常生活に至る広範な分野に影響（◆様々な課題がますます変化・複雑化・高度化する先行き不透明な社会へ ◆グローバル化の進展は、都市部のみならず、中山間地域を含め、広島県全体の経済や生活に影響）
- 一方で、少子化の影響により、広島県の成長・発展を支える人材の数が減少

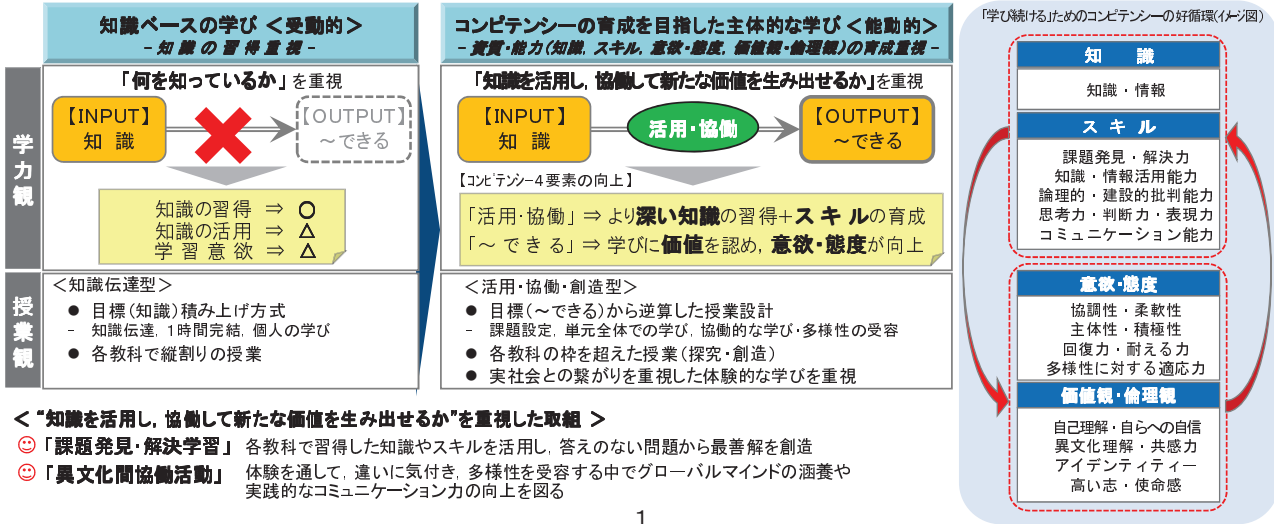
グローバル化の進展や生産年齢人口が減少していく中で、「ピンチ」を「チャンス」に変えていくためには、「地域の成長・発展を支える人材」から「世界を舞台に活躍する人材」まで、厚みのある人材層の形成が不可欠

## <育成すべき人材像>

広島で学んだことに誇りを持ち、胸を張って「広島」、「日本」を語り、高い志のもと、世界の人々と協働して新たな価値(イノベーション)を生み出すことのできる人材

“変化の激しい社会を生き抜くことのできる資質・能力(学び続ける力)”の育成が必要

## <これからの新しい教育の方向性- 学びの変革 ->



1

## 10年先を見据えた施策展開(概要)

### 施策1 育成すべき人材像の具体化

- ◆ これからの社会で活躍するために必要な資質・能力(コンピテンシー)の育成を目指した教育活動を実施するための評価指標を開発し、教職員や児童生徒の間で目標の共有化を図る

#### < 主な取組例 >

- 小・中・高等学校においてモデル校を指定し、実践事例の研究開発(平成30年度を目標に全県展開)

など

### 施策2 課題発見・解決学習の推進

- ◆ コンピテンシーの育成に効果の高い「主体的な学び」を促進するため、総合的な学習の時間をはじめ、各教科等の学習において、「課題発見・解決学習」を推進する

- グローバルキャンプなど「異文化間協働活動」を行う学校の支援体制の整備(「異文化間協働活動コーディネーター」の育成・配置の検討)
- 高校生の海外留学、姉妹校交流の更なる促進

など

### 施策3 異文化間協働活動の推進

- ◆ これからの社会で活躍するためのベースとなるグローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力の育成に向けて、小学校段階からの系統的な「異文化間協働活動」を推進する

- 県内各地域のコンピテンシー育成教育の拠点となる併設型中高一貫教育校の設置
- 複数の専門学科からなる専門高校の設置
- 従来の定時制・通信制課程の枠組みに捉われない学校(フレキシブルスクール〔仮称〕)の設置
- 地域の医療や教育を支える人材を育成する学校の整備(医師・教員類型の設置)
- グローバルリーダー育成校〔仮称〕の設置検討

### 施策4 厚みのある多様な人材層の形成に向けた学校の体制整備

- ◆ 社会が求めるニーズに応じた厚みのある多様な人材層の形成に向けて、県立学校の体制整備を早急に進める

### 施策5 教員の採用育成方針の整備

- ◆ コンピテンシーの育成を目指した教育の実践に向けて、教員の採用育成方針の抜本的な見直しを行う

- 中核教員研修や海外長期派遣研修の実施
- 広島版「教員養成塾」の実施検討

など

### 施策6 県全体の機運醸成

- ◆ 県民総ぐるみで児童生徒や学校の新たな挑戦を応援していくため、県全体の機運醸成を図る

- 広島県教育フォーラムの開催(児童生徒の「課題発見・解決学習」の成果発表、高校生グローバルサミットなど)
- 学校の取組を支援する基金の設置

など